

月刊緑ヶ丘新聞



わが高野球部、熱戦の裏で

語る思い

全国高校野球選手権神奈川大会が七月五日から開催された。わが校野球部は初戦城郷戦で白熱した試合展開を見せ、九回でサヨナラ勝ちを収めた。

当新聞では、城郷戦で活躍した一年、三年生と、野球部を取材した。

フルカウントで打った時の気持ち教えてください

代走で指名された時の気持ち教えてください

全国高等学校野球選手権大会 今後の予定
7月24日(金) 神奈川大会準決勝 PB 9:00~11:30~
26日(日) 神奈川大会決勝 PB 14:00~
どちらも会場は横浜スタジアム
8月 5日(水) 開会式 以降会場は甲子園球場
22日(土) 第108回全国高等学校野球選手権大会決勝 PB 10:00
決勝放送局 テレビ朝日



バーチャル高校野球
見逃し配信より

一年生の自分をあの緊迫した場面で送り出してくれた先生と先輩方に感謝しています。代走での出場でしたが、吹部、チア部の応援を肌で感じられたのは大きな経験であり、僕の財産です。同点のホームを踏んだ瞬間、ベンチやスタンドが一気に湧いた景色は今でも忘れられません。これからも物怖じせず自分の役割を全うできるよう、日々の練習を大切にしていきます。

これからの意気込みを教えてください

先日は応援ありがとうございました。79期の皆さんから受け継いだものは切らずに残し続けるとともに自分たちの代の良さというところを混ぜ合わせて頑張っていきたいと思っています。部の主力であった三年生が抜け、不安が大きく残る中ですが、二年生が今大会で得たものを活かしてチームを引っ張っていきたいと思っています。三年生が作ってくれた「応援されるチーム」でいられるように一日一日の練習を大切にしていきたいから一生懸命頑張ります。

一年D組から
広がる思い

少しでも環境や社会に良いことができたかと思っ—そう語るの是一年D組の有志生徒。今月上旬からコンタクトレンズの空ケースの回収を始めた。

いつの間にか置かれていた回収ボックスの珍しさに足を止めた人も多いだろう。じつは、そのきっかけは家庭科の授業での班活動だった。班で調べものをする中で活動を知

ったという。『瞳のため、地球のため。』をスローガンとする「アイシティECOプロジェクト」では、回収された空ケースはリサイクルされ、その対価は日本アイパング協会へ寄付される。

回収の対象となるのは、ケースのプラスチック部分だ。アルミシールを完全に剥がしたうえで回収ボックスに入れてほしい。コンタクトレンズを使用している人はもちろん、家族や身近な人にも声をかけながら、ぜひこの取り組みに協力してほしい。

回収可能なもの ◎
ケースのPET部分

回収不可なもの ×
アルミの残っているもの
レンズの残っているもの



1年D組有志生徒への取材による

明かされた
意外な事実!

緑 高 野 球 部
のトレーニングに迫る

熱き夢に向かう野球部。夢を実現するため、どのようなトレーニングをしているのか取材した。

取材してみると、意外な答えが返ってきた。野球部代表者によると平日の半分ほどは選手が自分自身でトレーニング内容を決めていくそうだ。厳正に管理されているイメージがあるが、実際には選手が自主的にメニューを決めているのだ。

緑高らしい自主性を重んじた内容はほかにみられる。朝練は強制ではない。



26年度部活動紹介動画より

なく、筋力トレーニングも強制的にメニューが決められるものではない。そのような中でも選手は自分自身でトレーニング内容を選択し、朝練に参加しているようだ。

このように、自主性を重んじた緑高らしいトレーニングを取り入れている野球部、今後の活躍に期待したい。

目安箱回答

○男子更衣室が汚い掃除の徹底を要請しています。

○新しいカギという番組を呼んでほしい

企画書草案を作成しましたが、今回は見送らせていただきます。

○校庭から見える時計を設置してほしい
現在検討委員を設置中です。

○体力テストを持久走にしてほしい
所管外であります。体育科に伝えておきます。

以上、生徒会火曜週番より、目安箱に対する回答でした。そのほか、生徒会からののお知らせはありません。

この夏の花火大会の予定

- 8月1日
サザンビーチ茅ヶ崎
小田原酒匂川花火
- 8月7日
三浦海岸の納涼祭り
- 8月22日
金沢まつり花火大会
- 8月24日
みなとみらいフェスティバル

